

G3 平成 22 年度活動報告

大森 肇

【1】活動目的

本プロジェクトにおいてグループ 3 (G3) のめざす最終ゴールは、「筑波大学の共通体育における再構築モデルの実践と評価」である。これは、「筑波大学体育センターの教育活動を中心とした『大学体育』の過去の総括と現状把握」を目的とする G1 の活動と、「大学体育カリキュラムモデルの再構築」を目的とする G2 の活動との延長線上に位置付けられる。

平成 21 年度において、G3 では「評価方法の確立に向けた情報収集」を行った。平成 22 年度においては、再構築モデルにおけるカリキュラム評価のグランドデザインを構築するとともに、その一部に位置づけられる「学生による授業評価」の調査表の作成することを目的とした。また平成 22 年度から実施されているグローバル 30 プログラムに対応すべく、「学生による授業評価」(英語版)の作成も併せて目的とした。さらに、「教員による授業の自己評価」、「教員相互による授業評価」、「教員による成績評価」、「学生・教員・教員相互による単元評価」の調査表作成を視野に入れることとした。

【2】構成員

○大森肇, 小俣幸嗣, 山田幸雄, 榎本靖士, 坂本昭裕, 平山素子, 本間三和子, 安藤真太郎, 鍋山隆弘, 小田梓, 門野洋介, 武田剛

【3】活動報告

1) 会議

定例会議を中心として 12 回の G3 全体会議(年度内に第 13 回, 第 14 回を予定)を開催した。また, G3 の構成メンバーを顕在的カリキュラム評価, 成績評価, 授業評価, 単元評価の四つのワーキンググループ (WG) に分け, 役割を分担した。また, 各 WG において活発な議論と作業が行われた事が報告された。全体会議の概要は以下の通りである。

第 1 回 (平成 22 年 7 月 13 日): パイロットスタディー実施にむけての議論 (時期, 対象学年, 対象科目, 測定項目)

第 2 回 (平成 22 年 7 月 30 日): 1) SPERT コア会議 (7/15) からの要望事項の報告 (パイロットスタディーにおける Pre 測定の意義についての議論の必要性, 評価のグランドデザインの提示), 2) 今年度の方針とアクションプランについての検討

第 3 回 (平成 22 年 9 月 27 日): 1) 再構築モデルにおけるカリキュラム評価のグランドデザイン案の提示と議論, 2) WG の編成 (顕在的カリキュラム評価: ○坂本, 小田) (成績評価: ○山田, 鍋山, 武田) (授業評価: ○大森, 小俣, 平山, 小田) (単元評価: ○本間, 安藤, 門野)

第 4 回 (平成 22 年 10 月 25 日): 1) 各 WG の課題と工程案の提示, 2) 「成績評価 WG」報告 (現状における成績評価分析の方法について)

て), 3)「授業評価 WG」報告(「学生による授業評価」,「教員による授業の自己評価」,「教員相互による授業評価」)に関する役割分担の決定ならびに各評価内容の擦り合わせの必要性)

第5回(平成22年11月8日):1)「学生による授業評価(G3版)」(案):現行授業評価, G1による卒業生アンケート,大学体育連合「大学体育の自己点検・自己評価ハンドブック」, G2による「筑波体育」を参考にした質問項目の設定, 2)それらの質問項目に関する議論

第6回(平成22年11月22日):前回会議後の「授業評価 WG」において修正された質問項目についてのさらなる議論

第7回(平成22年12月6日):1)「学生による授業評価(G3版)」実施にむけての議論(「学生による授業評価(G3版)」と「現行授業評価」を今後どのように実施していくかの議論,重複部分の扱いや両者の統合などについて正課体育委員会との議論の必要性), 2)「成績評価 WG」による「成績評価に関する教員アンケート」の集計結果の報告

第8回(平成22年12月13日):1)「学生による授業評価(G3版)」の質問項目に関するさらなる検討, 2)「成績評価 WG」報告(G2の「成績評価 WG」との今後の共同作業について)

第9回(平成22年1月12日):1)正課体育委員会(1/7)における「学生による授業評価(G3版)」の提案とその結果に関する報告, 2)体育センター会議(1/12)における「学生による授業評価(G3版)」に関する提案内容についての議論

第10回(平成22年1月24日):1)授業評価 WG 報告(1/12の体育センター会議にて出された「学生による授業評価(G3版)」に対す

る修正要望に関する検討の報告, 2)成績評価 WG 報告(「成績評価に関する教員アンケート」の調査結果を体育センター会議で報告する方向性の確認)

第11回(平成23年2月7日):1)「学生による授業評価(G3版)」を実施中であることの確認, 2)「学生による授業評価(G3英語版)」の作成経緯に関する説明と修正点についての検討, 3)「大学体育研究」に掲載する報告書等(3編)についての確認, 4)「教員による授業の自己評価」に関する議論, 5)「教員相互による授業評価」に関する議論

第12回(平成23年2月21日):1)実施中の「学生による授業評価(G3英語版)」に関する補足説明と確認, 2)授業評価 WG 報告(「教員相互による授業評価」の確立をめざす方針の報告, 3)来年度に向けての G3 の活動方針に関する議論(潜在的カリキュラム評価は「こころ」と「からだ」に関する事項について実施する方針の提案, 必修体育のある筑波大学と必修体育のない他大学との比較を実施する方針の提案, 来年度の日本体育学会での発表予定の提案など)

2) 活動成果

<研究成果報告書>

(1) 坂本昭裕, 小田梓, 門野洋介, 武田剛, 大森肇, 小俣幸嗣, 山田幸雄, 本間三和子, 平山素子, 安藤真太郎, 鍋山隆弘:筑波大学体育センターにおけるカリキュラム評価のランドデザイン-授業評価を軸としたカリキュラム改善の提案-. 大学体育研究, 33: 83-91, 2011.

(2) 小田梓, 大森肇, 坂本昭裕, 小俣幸嗣, 平山素子:新カリキュラムに対応した学生による授業評価作成の試み. 大学体育研究, 33: 93-100, 2011.

(3) 大森肇: SPERT プロジェクト・グループ3 平成22年度活動報告. 大学体育研究, 33:

79-81, 2011.

<調査表>

- (1) 共通科目「体育」の授業に関する調査
(SPERT プロジェクト G3 学生用授業評価)
- (2) Survey on the Common Subject "Physical Education" Classes (Class Evaluation by International Students in Global 30 Program)

【4】今後の展望

平成 23 年度は、今年度一定の成果を挙げた「顕在的カリキュラム評価」の中の「授業評価」について、「学生による授業評価」ばかりでな

く、「教員による授業の自己評価」と「教員相互による授業評価」を実施する予定である。また、「教員による成績評価」および「学生・教員・教員相互による単元評価」の実施もめざしている。さらに、「潜在的カリキュラム評価」についての検討を開始したい。

付記

本活動報告は、日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（課題番号 21240060）の一部である。